

# 国語科学習指導案

指導者 広島市立〇〇小学校

教諭 〇〇 〇〇

1 日時 平成28年11月〇日(〇)

2 学年・組 第2学年〇組

## 3 指導事項

(1) 話すこと・聞くこと イ

- ・相手に応じて、話す事柄を順序立て、丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気を付けて話すこと。

(2) 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ(ア)

- ・言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付くこと。

4 単元名 「おもちゃ教室」をひらこう

## 5 言語活動

手作りのおもちゃについて紹介したり、作り方と遊び方の手順を説明したりすること。「おもちゃ教室」をひらくこと)

## 6 単元の評価規準とめざす児童の具体的な姿

国語への関心・意欲・態度	話すこと・聞くこと的能力	言語についての知識・理解・技能
○ 対象となる事物について、詳しく説明したいという思いを膨らませて話す事柄を選ぼうとしている。	○ どんな事物について説明するのか、どんな構造になっているのかなど、説明する事柄を順序立てている。	○ 言葉には、経験したことを伝える働きがあることに気付いている。
○ おもちゃの作り方や遊び方について詳しく説明したいという思いを膨らませて話す事柄を選ぼうとしている。	○ 紹介するおもちゃを選び、作り方や遊び方を順序立てて話したり、紹介したりすることができる。	○ 言葉には、経験したことを伝える働きがあることに気付き、おもちゃの説明に生かしている。

## 7 単元について

### ○児童の状況

- ・相手に応じて、話す事柄を順序立て、丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気を付けて話すこと：本学級の児童は、一年生「『じゃんけんやさん』をひらこう」において、新しく考えたじゃんけんの仕組みについて、説明に必要な事柄を落とさずに話す学習をしてきた。また、二年生「ことばで絵をつたえよう」では、絵を描く手順に必要な事柄の順序を考えて話す学習を行ってきた。また「たからものをしょうかいしよう」では、自分の宝物を紹介するために、宝物の特徴、何故好きかという理由を考え、短冊に書いた。そして相手により分かりやすくするために、事柄の順序を意識しながら、概要から詳細を説明するように短冊を並び替える活動を行った。

これまでの学習を通して、相手に分かりやすく伝えるためには、説明に必要な事柄のまとめりと話すこと、取り上げる事柄の順序を整理して話すことが大切だということが分かり、また、これらのことについて意識することができるようになってきた。しかし、話す事柄を集めることはできるが、話したいことを思い付い

た順に話してしまい、集めた事柄に軽重を付け、取捨選択をし、順序立てて話すことには慣れていない。

- ・ 言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付くこと：児童は自分が経験したことを話すことがとても好きである。「はじめに」「次に」など、順序を表す言葉を使いながら話すことは、少しずつでき始めている。しかし、相手に伝えたい事柄がよりよく分かるように、少ない語彙の中から適切な言葉を選んで話すことは苦手である。

## ○教材の価値

「おもちゃ教室」をひらこう：本単元では、手作りおもちゃについて作り方と遊び方の手順を説明する活動を通して、聞き手に分かりやすいように順序よく工夫して話す力を身に付けることをねらっている。教材を通して、「おもちゃの選択」「おもちゃの作り方や遊び方を整理するカードの書き方」「説明の練習の仕方」など、「おもちゃ教室」を成功させるために必要な力に気付かせ、身に付けさせることに適している。

手作りのおもちゃについて作り方と遊び方の手順を説明すること。（「おもちゃ教室」をひらくこと）：昨年度自分たちがやってもらった「おもちゃ教室」を、今度は自分たちがやるという活動を設定することにより、「1年生」という相手意識をもちながら活動を進めていくことができると考えられる。また、1年生に分かりやすく伝えるにはどのようにしたらよいか、どのような工夫をしたらよいかなど、主体的、継続的に考えることができるのではないかと期待している。

## ○指導の工夫

導入で、「1年生に『おもちゃ教室』をひらいてあげよう」という学習の見通しをもたせることで、相手意識、目的意識を明確にし、児童の学習意欲の継続を図る。「1年生が楽しむ」ことができるためには「1年生が分かる」説明、準備をしなくてはならないことを常に意識させ、そのために既習事項を思い出させたり、教材文の内容から分かりやすく説明するための工夫を読み取らせたりしていきたい。

紹介するおもちゃを決めさせる際には、材料の集めやすさ、作りやすさ、作るのにかかる時間、作る場所や遊ぶ場所という観点から、4工程程度（児童が説明するときに、順序を表すときに使う言葉「はじめに」「つぎに」「それから」「さいごに」を用いて説明できるようにするため）でできるおもちゃを選ばせる。手作りおもちゃに関する本や資料のコピーを準備したり、実際に作った物を展示したりして、教室に「手作りおもちゃコーナー」を設置し、児童の意欲が高まるように工夫する。また、十分におもちゃを作ったり、遊んだりする時間を設定し、その後に児童が紹介したいおもちゃを決めることができるようにする。

順序よく説明する力を付けるために、実際に制作させ、説明する内容が書けるようにしていく。同じおもちゃを作るグループで説明する練習をした後、別のおもちゃを作る友達に説明をさせ、分かりやすく伝わったかどうかを確認させる。

紹介文を書く活動にあたっては、「おもちゃのおもしろさ」「遊び方の楽しさ」「作る過程の楽しさ」などの視点から、自分が思う「おもちゃのよさ」を短冊に書かせ、紹介する事柄を集めさせる。その中から、特に1年生に「おもちゃのよさ」が伝わりそうな事柄を5つ程度選び、その5つの短冊の並べ方(概要→詳細)を考えさせる。その際、5つの文のうち2つは、「紹介するおもちゃの名前」「どんなおもちゃか」という概要に当たる部分を必ず書かせるよう指導する。

選んだおもちゃの紹介文が1年生に分かりやすく伝わるかどうか確かめるために、同じおもちゃを選んでいる児童と交流する場を設定し、その後再度自分で考える時間をつくる。交流を通して、より伝わりやすい「よさ」を挙げることができたり、自分の考えを確かにしたりすることができるのではないかと考える。これらのことを通して、自分なりの理由（根拠）をあげながら説明する力を付けていきたい。

## 8 単元の学習と評価の計画

次	時	学習活動	評価規準・評価方法	観点		
				関心・意欲・態度	話す・聞く	言語についての知識・理解・技能
一	1	「おもちゃ教室」を開き、手作りおもちゃの作り方や遊び方について聞き手に分かりやすく説明するという学習課題を確かめ、学習の見通しを立てる。	手作りおもちゃの作り方や遊び方を説明する活動に関心を持ち、進んで取り組もうとしている。(発言・行動観察)	○		
二	2	手作りおもちゃについて調べ、紹介するおもちゃを決める。	手作りおもちゃについて、必要な事柄を調べている。(発言・ノート・行動観察)		○	
	3 4	材料と道具、作り方、遊び方について、説明することを手順に沿って、分かりやすくカードに書く。	説明に必要な事柄を落とさずに、語と語や文と文の続き方に注意して、カードを書いている。(カード)			○
	5	分かりやすく説明するために、言葉の使い方や話し方の工夫について考える。	分かりやすい説明の仕方について考え、話し合っている。(行動観察)		○	
	6	分かりやすく説明するための工夫を考えて、グループで助言しあいながら練習する。	分かりやすく説明する工夫を考えながら、順序立てて丁寧に話す練習をしている。(行動観察)		○	
	7	紹介するおもちゃの「よさ」を考え、短冊を書く。	自分が作るおもちゃの良さを考え、根拠を挙げながら、短冊に書いている。(短冊)			○
	8	紹介するおもちゃについて、分かりやすく紹介する文を考える。(本時)	おもちゃを紹介する短冊を並び替えて、文章を書いている。(ワークシート)		○	
三	9 10	「おもちゃ教室」を開き、練習で考えたことを生かして、聞く人に分かりやすく工夫して説明する。	相手の様子を見ながら、話す内容や話し方に気を付けて説明している。(行動観察)		○	
	11	単元の学習を振り返り、分かりやすく説明する工夫の仕方について確かめる。	「おもちゃ教室」でのせつめいのできたことや難しかったことを振り返り、分かりやすく説明するための工夫の仕方を理解して、今後も生かそうとしている。(発言・ノート)	○		

9 本時の学習目標

短冊を並び替えて、1年生に分かりやすい紹介文を完成させることができる。

10 本時の学習展開

学習活動	指導上の留意事項	評価規準・評価方法
<p>1. 前時までの学習を振り返る。</p> <p>2. 本時の学習課題を把握する。</p>		
<p>1年生に分かりやすくつたわるように、たんざくを ならびかえよう。</p>		
<p>3. 自分が書いた短冊を並び替える。</p> <p>①個人</p> <p>②全体</p> <p>③個人</p> <p>4. 自分が教えるおもちゃと同じ人と交流をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年生の児童が分かりやすい紹介文にすることを意識させ、相手意識、目的意識をもたせる。</li> <li>・児童が考える時間を取った後、教員の短冊（例文）を並び替える時間を取り、どのような順序で並び替えると伝わりやすいか、考えさせる。</li> </ul> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「山のぼりかめさん」をしょうかいします。</li> <li>・このおもちゃは、かめの形をかいた紙の後ろに、ストローをはり、ひもを通して作っています。</li> <li>・ひもをかべにつけて、ひもを右、左、右、左と動かすとうごきます。</li> <li>・本とうに一人で山にのぼっているように、歩きます。</li> <li>・ちょこちょこうごくところがかわいいです。</li> </ul> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・並び替えるとき、概要から詳細を伝えていくと分かりやすいことに気付かせる。（紹介するおもちゃの名前→どんなおもちゃかの説明→だからこんな面白いところがある など）</li> <li>・1年生の児童が、「どんなおもちゃかわかるか」「おもしろさやよさがつたわるか」考えながら並び替えるとよいことを伝える。</li> <li>・再度、自分の短冊を並び替える。早くできた児童には、なぜこの順序にしたかを考えさせ、メモをさせる。</li> <li>・自分が選んだおもちゃと同じ友達とペアを組ませ、紹介文を読んで聞かせるよう指示する。</li> <li>・ペアで「分かりやすく」伝わるか確認する。</li> </ul>	

<p>5. もう一度短冊の並び替えをする。</p>	<p>・相手の意見を聞いて、並び替えた方がよいと思えば並び替えてよいこと、意見をもらっても並び替える必要がないと思ったら並び替えなくても良いことを確認する。</p>	
<p>6. 本時の学習の振り返りをする。</p>	<p>・聞き手を意識して短冊を並び替えるとき（文章を書くとき）、概要から詳細について並べるとよいことを確認する。</p>	<p>A 相手を意識して短冊を並び替えるときに、概要から詳細について説明することの大切さに気付く、並び替えるときに工夫したことについて自分なりの気付きを書いている。（ワークシート）</p>
<p>7. 次時の予告を聞く。</p>	<p>・次時は1年生に紹介文を読んで聞かせることを予告する。</p>	<p>B 相手を意識して短冊を並び替えるときに、概要から詳細について説明することが大切だということを記述している。（ワークシート）</p>